

鈴鹿大学主催 国際交流クラブ WAI・さくら茶道部企画

環境問題セミナー & International お茶会

気候変動の危機と日本のエネルギー事情

2019年2月3日(日) 13:00～(12:30 受付開始)

鈴鹿大学国際交流クラブの企画で、東北大学大学院環境科学研究科 トレンチャー准教授(博士)をお招きし、講演会を実施します。また、鈴鹿大学さくら茶道部の留学生によるお茶会も準備しております。日本の伝統文化を通じて、留学生と地域住民の多文化交流も楽しめます

開催場所: 鈴鹿市伝統産業会館 研修室 (三重県鈴鹿市寺家3丁目10-1)

※近鉄白子駅より津方面へ普通電車に乗り換えて、1駅いき近鉄鼓ヶ浦駅より徒歩10分

参加費: 無料

参加方法: 当日、直接会場までお越しください(定員(80名)未滿まで) 事前登録は不要

脱炭素社会の実現に向けて日本は果たして世界を先んじるか?

本講演では、かつて世界を先んじていたものの、今や欧米や中国などに比較して再生可能エネルギーの導入拡大と気候変動対策が非常に遅れている日本のエネルギー政策の特徴と問題点について分かりやすく説明します。具体的には、地球規模の気候変動の危機に関する最新の科学知見をまとめた上で、日本のエネルギー事情と関連政策に着目して、日本の今後の気候変動対策に大きく影響している、震災後の石炭火力発電所の新增設の問題、および、水素社会の実現に向けたイノベーションを同時に見ることによって、日本のエネルギー政策の複雑さや矛盾、そして将来の展望と課題について総合的に考えます。※日本語での講演です。

<発表者> トレンチャー・グレゴリー 准教授(博士)

東北大学 大学院環境科学研究科 先進社会環境学専攻

オーストラリア出身。2007年に鈴鹿大学 Study Japan Program(研究生)を修了。2014年に東京大学で博士号取得。2017年まで米国のクラーク大学助教。2017年から東北大学准教授。日本のエネルギー事情やそれに関する政策と市場の変化について研究をしている。



主催: 鈴鹿大学 企画: 鈴鹿大学国際交流クラブ WAI
お問合せ: 059-372-3943
鈴鹿大学 国際交流クラブ WAI 顧問 渡邊(教務・学生支援課)

背景写真提供: 桜庭恭子
(2007年度 WAI 部長)